



パイプオルガン・チェンバロ講習会 2018
上級コース

受講生募集要項

主催・問合せ



公益
法人

宮崎県立芸術劇場

MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

TEL:0985-28-3208

パイプオルガンやチェンバロを意欲的に学び、将来宮崎県で、これらの楽器の普及のために活動したいと思っている方の育成を目的とした2年間のコースです。

年間4回の個人レッスンと、レッスン以外での自主練習等で演奏技術を磨いていただきます。

日 程

【年間スケジュール】※スケジュールは変更になる場合もあります

	日 付
第1回	平成30年 4月6日(金)～8日(日)
第2回	7月27日(金)～29日(日)
第3回	10月12日(金)～14日(日)
第4回	平成31年 2月28日(木)～3月3日(日) ※第4回の3日目に上級コース受講生コンサート (一般公開)を行います。

【講習会期間中スケジュール例】

上:第1～3回	金曜日	土曜日	日曜日
下:第4回	木曜日	金曜日	土曜日
午前 (10:00～12:00)		レッスン ③	レッスン ⑥
午後 (12:00～16:00)	レッスン ①	レッスン ④	入門コース グループレッスン
夕方 (16:00～19:00)	レッスン ②	レッスン ⑤	※第4回は、土曜 日に予定していま す。
夜 (19:00以降)		課題曲 ワークショップ	

※上級コースのレッスンは、①～⑥のいずれかの時間に入ります。

内 容

1. 各回40分～1時間程度の個人レッスンのほか、レッスン以外に講師から課される課題に取り組んでいただきます。
2. 2年間のコースです。2年間継続して受講していただき、2年目の最後の修了演奏が十分なレベルに達していると判断された場合、上級コース修了ディプロマが与えられます。
3. 本コース受講生は当劇場のオルガンおよびチェンバロで、講習会の前後に個人練習ができます。

(当劇場の利用区分[午前・午後・夜間]のうち、年間で10～15区分程度の予定)

ただし、劇場の空き状況と受講生の日程が合わなかった場合、この回数よりも少なくなる場合があります。

また、練習には事前予約が必要です(練習開始は第1回講習会後からとさせていただきます。)

講 師



大塚直哉 Naoya Otsuka (当劇場オルガン事業アドバイザー)

東京藝術大学大学院チェンバロ専攻を経て、アムステルダム音楽院オルガン科およびチェンバロ科を修了。パッサ・コレギウム・ジャパンやアンサンブル・コルディエなどのアンサンブルにおける通奏低音奏者としての活動のほか、オルガン、チェンバロ、クラヴィコードのソロ奏者としても日本やヨーロッパなど各地で活発に活動を行っている。現在、東京藝術大学准教授、国立音楽大学非常勤講師、公益財団法人宮崎県立芸術劇場オルガン事業アドバイザー。またオルガンやチェンバロ、クラヴィコードなどむかしの鍵盤楽器に初めて触れる人たちのためのワークショップを各地で行っている。「アンサンブル コルディエ」音楽監督。NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役として出演中。大塚直哉ホームページ <http://homepage3.nifty.com/utremi/>

●対象

宮崎県在住者。当講習会初級コースを優秀な成績で修了または同等の実力を持つ方で、将来宮崎県で、より多くの人にこれらの楽器の良さを広めていく意欲と実力のある方。なお、演奏能力については課題曲を参考にしてください(高校生以下の方には、「ジュニア上級」というコースを設けています。別途ご相談ください。)

●選考方法・日時

平成30年2月15日(木)の夜に、実技審査及び面接を行い、審査の結果は、後日郵送により通知いたします。

●定員

パイプオルガン、チェンバロ両専攻合わせて若干名。 ※該当者なしの場合もあります。

●受講料

1年間 40,000円 ※受講料は30年度以降、変更する可能性があります。

※受講料は、受講確定通知後に納入いただきます。納入後は、いかなる理由があっても返金いたしません。

選考方法

(1)実技審査

	課題曲
パイプオルガン専攻	① バッハまたはブクステフーデのペダルつきオルガン作品 ② スウェーリンクまたは G.ベームの手鍵盤のための作品 1 曲 (変奏曲の場合、2～3 つの楽章を抜粋すればよい) ③ Jacques van Oortmerssen: A Guide to Duo and Trio playing の No.1～No.4より当日指定 ※過去に上級コース審査を受けたことがある場合、その時の受験曲目と重ならないように①と②を選曲すること。
チェンバロ専攻	① F.グループラン『クラヴサン奏法』、又は J.P.ラモーの中から 1 曲。 ② 平均律クラヴィーア第2巻より任意(プレリュードとフーガを 1 曲)。 ※過去に上級コース審査を受けたことがある場合、その時の受験曲目と重ならないように①と②を選曲すること。

(2)通奏低音課題

簡単な数字つき低音の初見演奏。

出題する数字は、基本位置(♯、♭含む)、6、 $\frac{6}{4}$ 、 $\frac{6}{5}$ 、 $\frac{6}{2}$ 、4-3、7-6。(「クラヴィス」第3部参照)

(課題例)



(3)面接

申込時に提出いただく質問用紙をもとに面接いたします。

※備考

- ・パイプオルガンで審査を受ける方は、事前にレジストレーションの時間を取ることはできませんので、レジストについては試験の時にその場で講師と相談してください。当日の練習時間は1人15分程度を予定しております。
- ・審査の結果は、郵送により通知いたします。

審査員

大塚直哉(東京藝術大学准教授ほか、当劇場オルガン事業アドバイザー) ほか

●申込み方法・期限

- * 申込書・事前質問用紙をご記入のうえ、実技審査で演奏する楽譜のコピー(上部に①応募者氏名、②作曲者名、③曲名を記載すること)を同封し、下記まで郵送またはご持参ください。FAXでの受付はいたしません。
- * 申込書・質問用紙は、宮崎県立芸術劇場ホームページからダウンロードできます。ダウンロードができない方は、下記までお問合せください。申込み期限は、**平成30年1月7日(日)必着**です。

●申込み・問合せ先

〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地 (公財)宮崎県立芸術劇場
 「パイプオルガン・チェンバロ講習会2018 上級コース」係
 TEL:0985-28-3208